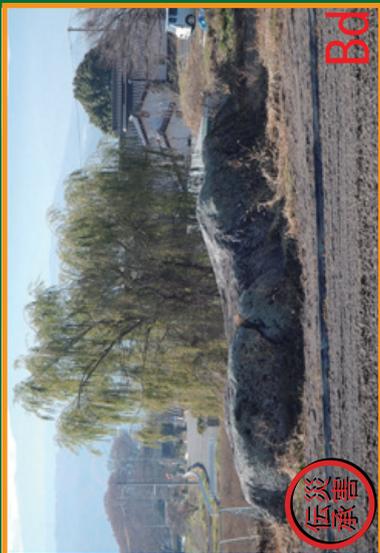


Df/Tr



八間石

Ver.1(2020/2/1)

災害伝承 DATA

所在地：長野県東御市祢津 347-1
緯度・経度：北緯 36 度 22 分 5.8 秒
東経 138 度 21 分 25.8 秒
伝承形式：岩石・奇岩
種類 / 要因：土石流 / 集中豪雨
災害発生：1742 年（寛保 2 年）8 月 1 日（旧暦）
建立時期：不明
指定等：東御市指定 天然記念物
周辺地形：扇状地



観光情報はこちら

言い伝え・伝説

寛保 2 年の 7 月末から降り続いた雨により、8 月 1 日に祢津で大洪水が発生しました。そのおり、集落にあった大石が数 100m 下流の現在地に動かされてきたのが八間石です。全長 15m 以上もある大石は、下部が地中深く埋まって全体の大きさがわかりません。

周辺案内

巨石の周辺には、学校やワイナリー等のほかスポーツ施設が集中しています。また祢津東町には、市有形民俗文化財指定の「石尊の納め刀」が百数十本保管されており、周辺には県指定有形民俗文化財の「東町の歌舞伎舞台」・市指定有形文化財「大日堂」・「大日堂の算額」・「木造百体観音像」があります。